科目名	日本語分析Ⅱ(日本語史)
授業の目標・ねらい	現代日本語は長い歴史を経て成り立ったものです。したがって、日本語教師が現場で日本語の問題を考える際に、歴史的側面もあわせて扱えると、役に立つことが多くあります。本講義では、その力になれるよう、進めたいと思います。
授業内容・授業方法	授業は講義形式で進めます。 【授業1回目】 1. 音韻の変遷(変化を整理する) 2. 文字・表記の変遷(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の展開) 【授業2回目】 3. 語彙の変遷(位相という視点) 4. 文法の変遷(活用などを考える) 5. 古代と現代の日本語の諸相(相違点と共通点)
予習・復習	予習: 下記参考書等、関連書を読んでください。 復習: 授業時配布プリントの熟読。
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	沖森卓也『はじめて読む 日本語の歴史』(ベレ出版)
講師名	木村 一(きむら はじめ)
所属	東洋大学
研究分野	日本語の歴史
講師紹介	16C 末から 20C にかけて、国内外で作成された日本語研究資料(文法書・辞書・テキストなど)を用いて、日本語がどのように移り変わってきたのかを調べています。